

最高益更新に向けて、計画通りの進捗

業績動向

(単位:百万円)

連結	15/12	16/12	15/1Q	16/1Q	17/1Q	17/12 (予測)	進捗率
売上	11,567	12,300	1,133	2,381	2,102	14,448	14.5%
売上総利益	3,769	3,956	385	780	459	4,266	10.8%
営業利益	1,299	1,446	△152	190	△132	1,466	—
経常利益	1,196	1,328	△171	166	△145	1,374	—
当期純利益	724	853	△106	84	△132	929	—
1株当たり 配当金(円)	10.00	12.00	—	—	—	15.00	—

前期の仕入の不調により、当期は下期偏重の計画のため、1Qは前年同期比で減収・減益。

昨年、販売が停滞し、当期に期ずれになった大型居抜き物件の販売により、売上総利益率が前年同期比で大きく低下。期ずれになった大型居抜き物件の販売が完了し、2Q以降の居抜き物件は通常の利益率での販売を予定。また、底地の販売が2Q以降に増加する計画のため、2Q以降は売上総利益率は上昇する見通し。

特別損失として投資有価証券評価損29百万円を計上。

セグメント別売上

(単位:百万円)

連結	15/12	16/12	15/1Q	16/1Q	17/1Q	17/12 (予測)	進捗率
不動産 販売事業	10,240	10,959	925	2,244	1,906	12,958	14.7%
底地	5,300	5,413	542	1,200	483	6,342	7.6%
居抜き	3,851	3,404	249	473	1,327	4,505	29.5%
所有権	690	1,791	51	485	15	1,735	0.9%
その他 不動産	398	350	81	84	81	374	21.6%
建築事業	1,327	1,341	208	137	195	1,490	13.1%

底地及び所有権の販売は2Q以降に増加する計画。

昨年、販売が停滞し、当期に期ずれになった大型居抜き物件の販売により、居抜きが増加。

仕入・受注動向

(単位:百万円)

連結	15/12	16/12	15/1Q	16/1Q	17/1Q
不動産販売事業 (仕入高)	9,322	6,442	2,338	1,303	1,806
底地	3,700	3,169	1,023	504	990
居抜き	4,860	2,171	1,289	419	809
所有権	760	1,100	24	378	6
建築事業 (受注高)	1,223	1,432	254	244	280

昨年、仕入が停滞していた本社において、まとまった規模の底地・居抜きの仕入を行い、前年同期比で仕入が増加。2Q以降も大型物件の仕入を予定しており、仕入環境は良い状況が続くと見込む。

財務状況動向

(単位:百万円)

連結	15/12	16/12	15/1Q	16/1Q	17/1Q
現預金	2,253	2,435	1,765	2,048	2,551
販売用不動産	7,699	6,877	6,930	7,516	7,212
その他資産	1,444	1,519	1,461	1,575	1,523
総資産	11,397	10,832	10,157	11,141	11,288
流動負債	4,909	3,750	4,654	4,747	4,449
固定負債	453	225	333	324	208
純資産	6,034	6,856	5,170	6,069	6,629
自己資本比率	52.9%	63.3%	50.9%	54.4%	58.7%

仕入の増加により販売用不動産が順調に積み上がり、借入金の増加により前期末比で流動負債が増加。

・本資料は同時に公表しております「決算短信」を補足する資料に過ぎません。詳細につきましては「決算短信」をご覧ください。
 ・この資料に記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
 ・この資料は、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に際しては、投資家ご自身のご判断において行なわれますようお願いいたします。